

# 「流域治水プロジェクト」に基づく事前防災の加速

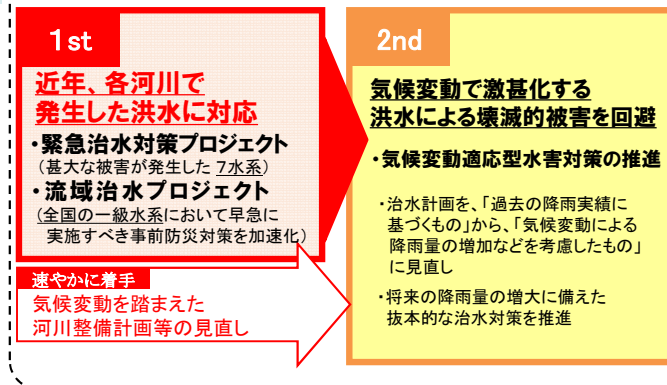
課題

◆ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築することが必要

対応

- ◆ 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「**流域治水**」へ転換
- ◆ 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「**流域治水プロジェクト**」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、「**流域治水プロジェクト**」を令和2年度中に策定

## 今後の水害対策の進め方（イメージ）



## 全国7水系における「緊急治水対策プロジェクト」

◆ 令和元年東日本台風(台風第19号)により、甚大な被害が発生した7水系において、国・都県・市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」に着手。

| 水系名  | 河川名    | 緊急治水対策プロジェクト<br>(概ね5～10年で行う緊急対策) |          |   |
|------|--------|----------------------------------|----------|---|
|      |        | 事業費                              | 期間       | 主な対策メニュー  |
| 阿武隈川 | 阿武隈川上流 | 約1,840億円                         | 令和10年度まで | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 支川に危機管理型水位計及びカメラの設置<br>浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等 |
|      | 阿武隈川下流 |                                  |          |   |
| 鳴瀬川  | 吉田川    | 約271億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堤防整備<br>【ソフト対策】 浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等                           |
| 荒川   | 入間川    | 約338億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 高台整備、広域避難計画の策定 等                             |
| 那珂川  | 那珂川    | 約665億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等                                |
| 久慈川  | 久慈川    | 約350億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堤防整備<br>【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等                                      |
| 多摩川  | 多摩川    | 約191億円                           | 令和6年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、堰改築、堤防整備<br>【ソフト対策】 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等                          |
| 信濃川  | 信濃川    | 約1,768億円                         | 令和9年度まで  | 【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備<br>【ソフト対策】 田んぼダムなどの雨水貯留機能確保<br>マイ・タイムライン策定推進 等          |
|      | 千曲川    |                                  |          |   |
| 合計   |        | 約5,424億円                         |          |   |

※令和2年3月31日 HP公表時点

## 全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

- ◆ 全国の一級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体の事前防災を加速

### 【イメージ】 ○○川流域治水プロジェクト

- ★ 戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★ 浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

#### ■ 河川対策

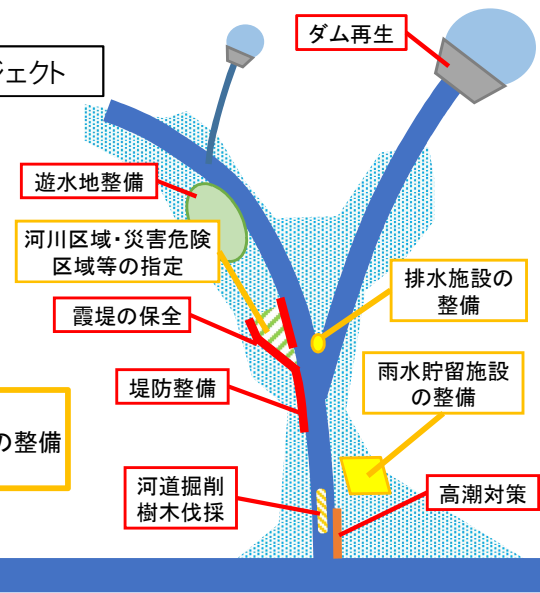
- ・堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

#### ■ 流域対策(集水域と氾濫域)

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導 等

#### ■ ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

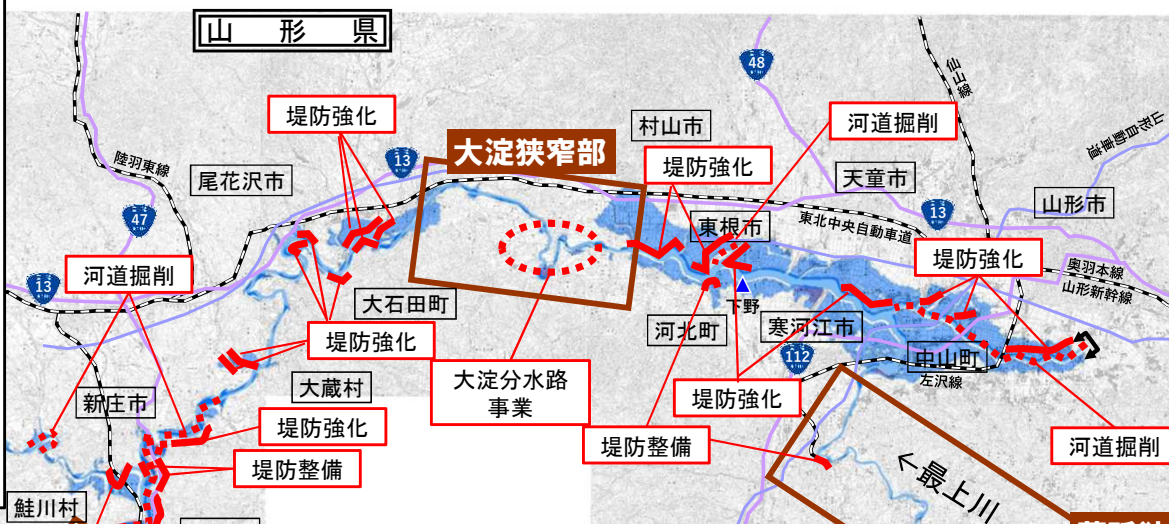
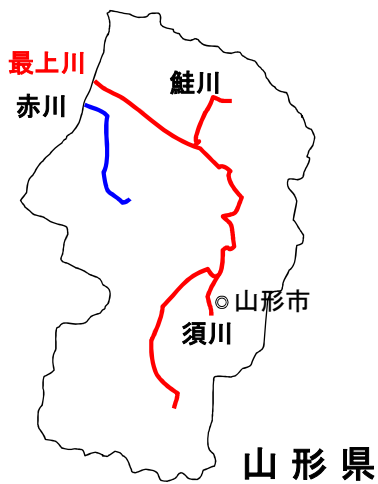


# 最上川水系流域治水プロジェクト【素案】

～狭窄部の抜本的な治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が各地で発生したことを踏まえ、最上川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、昭和42年洪水（前線及び低気圧）＜上流部で戦後最大＞及び昭和44年洪水（低気圧）＜中流部・下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

## 位置図



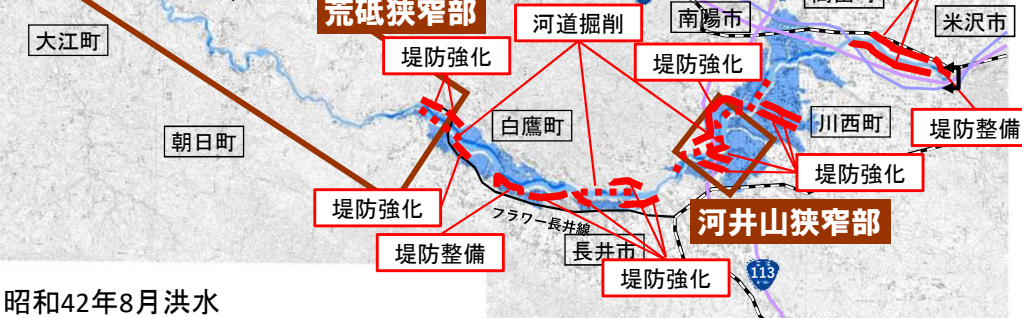
**■河川における対策**  
 国の対策内容 河道掘削、堤防整備、分水路整備等  
 ※今後、関係機関と連携し、都県管理区間の河川改修を追加予定

**■流域における対策のイメージ**  
 ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備  
 ・既存ダムの洪水調節機能の強化  
 ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等  
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

**■ソフト対策のイメージ**  
 ・水位計・監視カメラの設置  
 ・マイタイムラインの作成 等  
 ※今後、関係機関と連携し対策検討



山形市 須川(門田橋)



昭和42年8月洪水



川西町

凡例  

 浸水想定区域(昭和42年8月洪水等と同規模)  
 大臣管理区間

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。